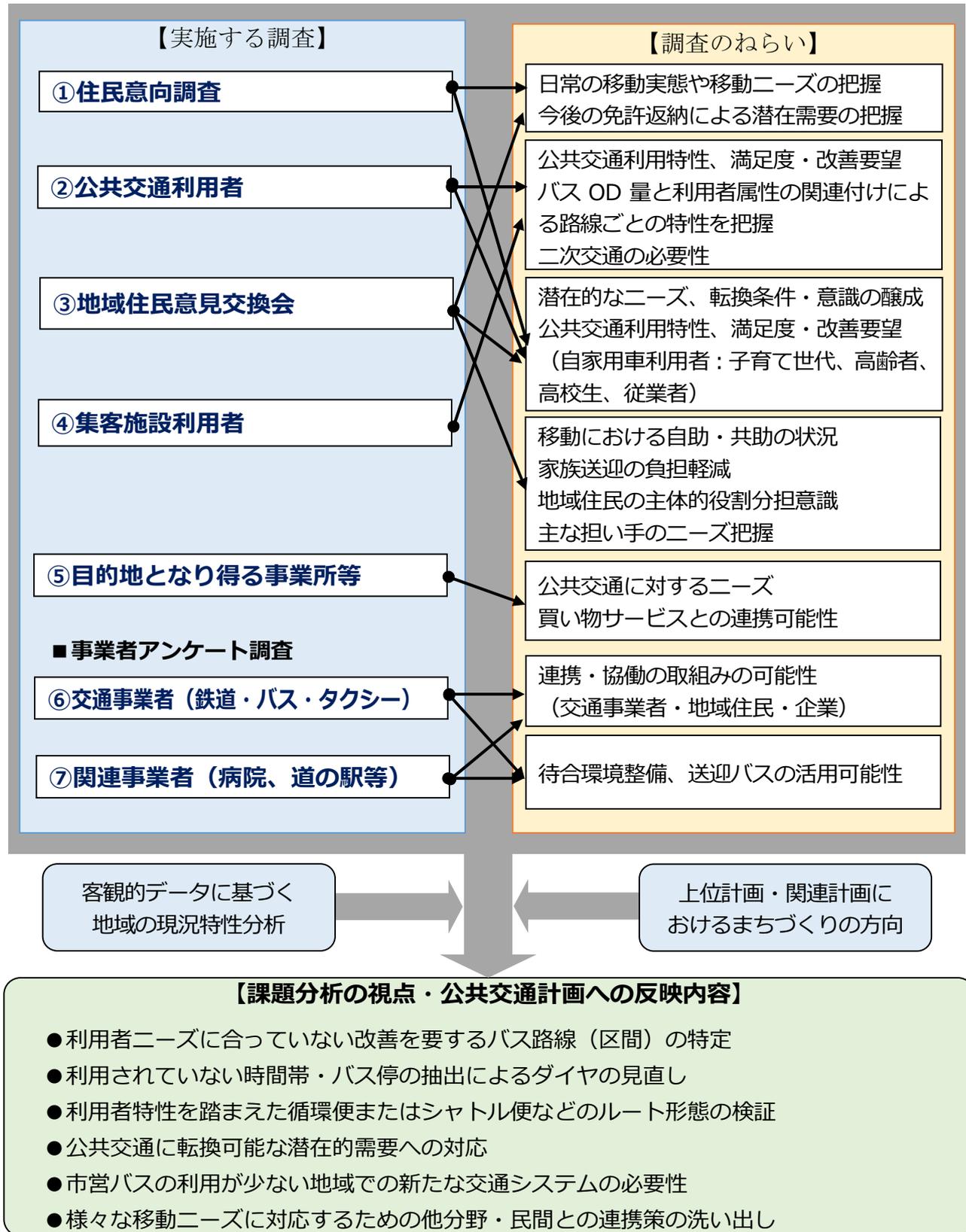


各種調査について

1. 調査概要

既存公共交通の運行状況等について、以下の調査により把握整理・分析する。

■ 調査の全体像



2 各種調査内容

① 住民意向調査【8月実施】

日常の移動実態や移動ニーズの把握、今後の免許返納による潜在需要の把握や潜在的なニーズ、転換条件・意識の醸成、公共交通利用特性、満足度・改善要望を収集するため、住民意向調査を行う。

■調査項目 ※詳細は資料 3-2

調査対象者	15 歳以上の市民 3,000 人（住民基本台帳による無作為抽出）	
踏査方法	郵送配布、郵送回収	
調査項目	属性	<ul style="list-style-type: none"> ・居住地、年齢、職業、自動車保有状況 ・運転免許保有状況及び運転免許返納意向
	日常生活の移動実態	<ul style="list-style-type: none"> ・目的別の外出時の主な行き先、利用交通手段、外出頻度 ・外出時に困ることの有無とその目的・行先、運賃許容金額 ・夏季・冬季における利用交通手段
	生活利便施設の利用実態と意識・要望	<ul style="list-style-type: none"> ・商業施設・医療施設の利用特性（目的、頻度） ・生活利便施設の利用に対する満足度 ・施設利用にあたっての徒歩アクセスの許容時間
	公共交通の利用実態と意識・要望	<ul style="list-style-type: none"> ・<対象：鉄道、路線バス、市営バス、タクシー> ・公共交通の利用実態と利用特性（目的、頻度） ・公共交通の運行サービスに対する満足度 ・環境意識の確認、自動車からの転換可能性
	公共交通の維持・確保意向	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の取組みの方向性、公共交通を維持・充実するための方法 ・協働の取り組みについて ・効果的な公共交通の利用促進策

② 公共交通利用者調査【9月実施】

公共交通利用特性、満足度・改善要望や、バス OD 量と利用者属性の関連付けによる路線ごとの特性を把握、二次交通の必要性を整理するため、交通利用者調査を行う。

■調査項目 ※詳細は資料 3-3

調査方法	路線バス	<ul style="list-style-type: none"> ・市内主要バス停対象（野市龍河洞通、夜須駅） ・調査員がバス停に待機し、直接ヒアリング ・バス停 2 か所×1 人 = 2 人 ※水曜に実施
	市営バス	<ul style="list-style-type: none"> ・全 14 路線対象 ・調査員がバス車両に乗車し直接ヒアリング、OD 調査（始発～終発） ・14 路線×2 人 = 28 人 ※非接触型のビンゴ形式調査票の活用 ※水・木曜に実施
	鉄道	<ul style="list-style-type: none"> ・市内駅対象（のいち、よしかわ、あかおか、香我美、夜須） ・5 駅×1 人 = 5 人 ※水曜日に実施
調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者属性（性別・年齢）、利用 OD、利用特性（端末手段・利用目的・頻度） ・運行サービスに対する満足度（便数、運行時間帯、行き先、運賃等） ・改善して欲しいサービス（行き先、運行日、運行本数等） ・自転車、自家用車からバスへの転換可能性（鉄道利用者・来訪者のみ） 	

③ 地域住民意見交換会【7月～8月実施】

日常の移動実態や移動ニーズの把握、公共交通利用特性、満足度・改善要望を収集するため、公共交通の利用率の高い高齢者層等への聞き取り調査を行う。

■調査項目

調査方法	・高齢者、子育て世代、自治会代表者、関係団体代表者（PTA、老人クラブ等）などを対象に、イベント・集会などの際に伺い意見交換をする。
調査対象	・参加されている方
調査項目	・日常生活の移動実態 ・生活利便施設の利用実態と意識・要望 ・公共交通の利用実態と意識・要望 ・公共交通の維持・確保意向

④ 集客施設利用者調査【9月実施】

公共交通利用特性、満足度・改善要望、バス OD 量と利用者属性の関連付けによる路線ごとの特性を把握、二次交通の必要性を把握するため、集客施設にて聞き取り調査を行う。

■調査項目

調査方法	・施設敷地内にて、対面式の聞き取り調査（500） ・調査日：平日1日 ・調査時間：8：30～11：30、13：00～16：00 ※コロナ感染予防対策として、手渡し配布、郵送回収を用いた対応も検討
調査場所	・市役所 ・主要商業施設（フジグラン野市、マルナカ野市店、A コープかがみ等） ・主要医療施設（野市中央病院、野市整形外科医院等） ・観光スポット（大日寺、道の駅やす等）等のうち5か所程度を想定
調査項目	・公共交通の利用実態と利用特性（目的、頻度） ・公共交通の運行サービスに対する満足度 ・自動車からの転換可能性

⑤ 目的地となり得る事業所等事業者ヒアリング調査【8月実施】

公共交通に対するニーズ、買い物サービスとの連携可能性を把握するため、事業所へのヒアリング調査を実施する。

■調査項目

調査方法	・事前に調査票を送付し、郵送回収（後日直接ヒアリング）
調査対象	・10～15箇所 （フジグラン野市、マルナカ野市店、A コープかがみ等、野市中央病院、野市整形外科医院、県立のいち動物公園、高知県月見山こどもの森、サイクリングターミナル、など）
調査項目	・利用者の交通手段の傾向 ・公共交通の必要性 ・公共交通との連携の可能性（共通利用券や割引券の発行など）

⑥ 交通事業者等事業者アンケート調査【7～8月実施】

交通の実態、連携・協働の取組みの可能性等を把握するため、交通事業者等の事業者へのアンケート調査を実施する。

■調査項目

調査方法		・事前に調査票を送付し、郵送回収（後日直接ヒアリング） ※運行管理者運転士や指導運転士等
調査対象・項目	[鉄道] 土佐くろしお鉄道(株)	・利用者の特性や運行上の問題点 ・利用促進策等 ・二次交通との接続
	[路線バス] 高知東部交通(株)	・利用者の特性（路線別）や運行上の問題点 ・バス利用者等から寄せられている声 ・路線の再編に対する考え方、当面考えている利用促進策 ・新たな路線ニーズ
	[タクシー] (株)のいちタクシー (有)平和ハイヤー (有)野島ハイヤー	・運行状況（保有台数、セダン型／ワンボックス型等）、利用特性 ・新たな公共交通システムを導入した場合の参入可能性（遊休車両の有無、運転手不足の状況） ・空港送迎、買物支援、子育て支援等サービスのニーズ

⑦ 関連事業者アンケート調査【7～8月実施】

連携・協働の取組みの可能性について検討するにあたり、関連事業者へのアンケート調査を実施する。

■調査項目

調査方法	・事前に調査票を送付し、後日必要に応じてヒアリング
調査対象	・観光分野事業者・団体（香南市観光協会、道の駅やす等） ・移動送迎サービス等を行っている事業者団体（デイサービス事業者、社会福祉協議会等）
調査項目	・無料送迎等の施設利用者のサービス向上に向けた取組み状況 ・観光や商業などまちづくりを取り巻く現状、問題点 ・公共交通と協力・連携した取組みや事業の可能性 【観光分野】 ・観光客の移動手段等に関する実態について ・レンタサイクルの利用に関する現状、問題点 【福祉分野】 ・子育て支援、高齢者等移動支援サービスの実態